

## 山形県立河北病院における入院診療体制の見直しについて

### 1 目 的

- 現在の病床利用率の状況を踏まえ、経営の効率化を図る。
- 今後需要増が見込まれる回復期医療の充実を図る。

#### <病床利用率等の状況>

病 棟	項 目	H29	H30	R 元(4～12 月)
急性期病棟 2 病棟 96 床 (H29 120 床)	入院患者延数	33,655 人	28,905 人	15,337 人
	1 日平均患者数	92.2 人	79.2 人	55.8 人
	病床利用率	76.8%	82.5%	58.1%
地域包括ケア 病棟 1 病棟 40 床	入院患者延数	13,390 人	12,290 人	8,350 人
	1 日平均患者数	36.7 人	33.7 人	30.4 人
	病床利用率	91.7%	84.2%	75.9%

### 2 内 容

- 急性期病棟について、現在の病床利用率の状況を踏まえ、2 病棟 96 床から 1 病棟 60 床に変更する。
- 地域包括ケア病棟については、今後、回復期医療の需要が増加すると見込まれることから、40 床から 50 床に変更する。
- 見直しに当たっては、3 階病棟の 6 床室、5 床室等の狭隘な病室について 1 床当たりの面積を広げるなど療養環境改善を図ったうえで、地域包括ケア病棟を 5 階から 3 階に移動する。

病 棟	変更前	変更後
3 階病棟	急性期病棟 48 床	地域包括ケア病棟 50 床
4 階病棟	急性期病棟 48 床	急性期病棟 60 床
5 階病棟	地域包括ケア病棟 40 床	—
1 階病棟	緩和ケア病棟 20 床	緩和ケア病棟 20 床
合 計	156 床	130 床

※ この他に感染症病床 6 床あり

### 3 実施時期

令和 2 年 4 月 1 日

なお、地域包括ケア病棟は、3 階病棟の改修工事終了後に 3 階に移動予定。